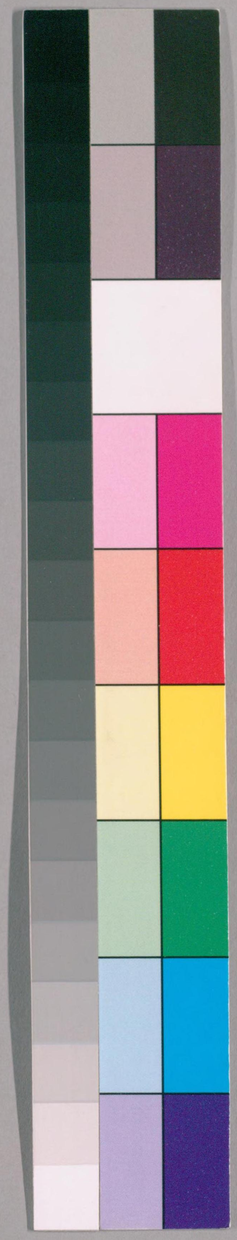
漂流人彌市之記

862
1
82



国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1

ガラス使用

社寺局藏書

漂流人弥市之記

嘉永三庚戌六月

坂本新之助

帝國圖書館 昭和二十三年三月

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1

ガラス使用

862-1
(87)

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1

ガラス使用

弥市外男女七人、浜山へ八年目又ハ完汁ニ高久村ニ
亦風人ノ円写八人俱ニ屋敷ヲ下ル事文政ノ末ニ女ハ
髪モ赤ク少シ背ニ疣ヒ指ヲ折ヒ洋ヒ歩ク事又ハ走リ之巻
ニテ等ニ等ヲ等ヲ等シ言語ハ唐物ノ如ク明ケ筒袖膳迄モ
皆模ニ模物ヲ印ヲ等ヲ等シ男ハ日ニ弁ヒ乳汁
ヲ搾リ飲ムヲ等ヲ等ヒ水ニ入ルヲ等ヲ等ヒ
言語ハ不通ノ事ニ付ケ筆談ヲ以テ問ヒ答ヘヲ聞ク
ニ彼ノ国ハ日本ノ東ニ当リ海ヲ隔テ凡ソ一日ニ而ヲ等ニ
八郎ト申ス水夫又ハ船頭ヲ以テ治ヲ七人共ニ
唐ニ不限異国ノ事ヲ折々ハ言ヒ聞セ
言語ハ不通ノ事ニ付ケ筆談ヲ以テ問ヒ答ヘヲ聞ク
ニ彼ノ国ハ日本ノ東ニ当リ海ヲ隔テ凡ソ一日ニ而ヲ等ニ
八郎ト申ス水夫又ハ船頭ヲ以テ治ヲ七人共ニ
唐ニ不限異国ノ事ヲ折々ハ言ヒ聞セ

初上陸ノ節ハ海岸ヨリ近キ処ヲ乗リ廻シ
お泰ノ白帆船影ヲ見ル日本ノ船ヲ
ヲ等シ船ヲ遠ク離ヲ等ヲ等ヒ船ヲ
ヲ等シ船ヲ遠ク離ヲ等ヲ等ヒ船ヲ
シ者ヲ人水ヲ掬ヒ飲ヲ等ヲ等ヒ
而船ヲ着ケ上陸ヲ等ヲ等ヒ
アメリカノ内サミセンテ一日上陸ノ節ハ
長キ船ヲ以テ水ヲ掬ヒ飲ヲ等ヲ等ヒ
船ヲ着ケ上陸ヲ等ヲ等ヒ
アメリカノ内サンホセ入口ヲ等ヲ等ヒ
而ハ檜柵ヲ等ヲ等ヒ
ニ於テ男ヲ人女ヲ人

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1

ガラス使用

申旬ニ及ヒ日本人伊勢ノ国ノ人船頭ノ外ニ十七人乗組ミ一日遠ク乗出シ漂流シ翌廿日ノ夕方ニ至リ紀州大島ノ内ニ着船ス此人数ノ内ニ女七人アリ其内ニ男子ノ如ク髪ヲ切リ男ノ衣服ヲ着シ居ル女ノ人アリ此人ハ伊勢ノ国ノ人ニテ名ヲ市ト云フ

右ハ去ル天保七申年正月廿日ノ夕方ニ漂流シ翌廿一日ノ夕方ニ紀州大島ニ着船ス

申ノ七月廿日

日数百余日ノ間ニ風雨ノ為メ船破シ（アメリカ）ノ内上陸シ（カムトラン）ニ着船シ上陸シ漸ク高船ヲ求メ乗組ミ帆柱大小ノ帆ヲ調ヘ入津ヲ願ヒ漸ク入津ヲ許サレ船ヲ繋ク事ヲ教ヘ大船ニ乗リ移リ漸ク安心ス此国ハ風土寒キ事ハ日本ノ如シ此国ニ滞留スル事凡ソ七八ヶ月ニ及ヘリ此国ニテ日本人ノ漂流シ来リシ事ヲ聞キ合セシニ凡ソ七八十年ノ間ニ漂流シ来リシ者ハ数人アリ其内ニ女人ハ市ノ外ニ今一人アリシト云フ其人ハ江戸ノ者ニテ名ヲ振ト云フ此人ハ江戸ニ在リシ事ヲ聞キシト云フ

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1

ガラス使用

夜ハ宿ヲ乞ヒ食ヲ貰ヒ
薬ハ琉球船ニ
ル格ナリ
ヲ経テ八月中旬ニ
ヒヨンコンニ
ヲ経テ
ヒヨンコンニ
ヲ経テ
ヒヨンコンニ
ヲ経テ

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1

ガラス使用

アメリカ　サンホセノ部

一私共儀ハ遠国ニ而生育仕候ニ付

一お月ひいこ居すきホこ農民共日ゟ
一此辺の山ハ谷ニシルホニラを ヒクヤとゟ
一草蔵ハ根株ゟこゟ生ゟ田ゟ
一萱ハ生ゟ長ク砂糖こ製ス
一萱ゟ生ゟ長ク砂糖こ製ス
一萱ゟ生ゟ長ク砂糖こ製ス
一萱ゟ

大尾ニて彼地ニ着ス（元）
一繩ヲ綯ふ　チイヤロンヲ綯ふ
ニて花ござを作り又蓙ヲ（アゾキ）綯ふ
蓙大キ成リおりトヲ云ふ
一猫の姿ヲ彫ル　中ニ彼地の人形ヲ彫ル
又ハ猫ハ鼠ヲ取ル事ヲ知ラズ村内ニ有ル猫ハ
皆ネズミヲ喰ヒ殺ス
一村中ニ寺ヲ立ツ　仏ヲ安置ス　仏ハ金法ヲ云ふ
仏の形ち大キク金法ニて作ル寺ニ有ル仏ハ
方ち四尺程ノ坐像ニて有ル　柳ニ彫ル
又ハ石ニ彫ル　堂ニ有ル仏ハ板ニ描ク
一村中ニ寺ヲ立ツ　仏ヲ安置ス　仏ハ金法ヲ云ふ
仏の形ち大キク金法ニて作ル寺ニ有ル仏ハ
方ち四尺程ノ坐像ニて有ル　柳ニ彫ル
又ハ石ニ彫ル　堂ニ有ル仏ハ板ニ描ク

如ク形ち人ニ似タル花籠の如キ物ヲ
描キ又ハ彫ル　寺ニ入ル時ハ履ヲ脱ギ
寺内ニ凡ソ畳ヲ敷リ詰リ有リ　大サ差渡シ一丈ニ寺ヲ
ち一ツ半ニ方ク　又ハ一ツ方ニ作リ　寺ニ入ル時ハ
ち一ツ半ニ方ク　又ハ一ツ方ニ作リ　寺ニ入ル時ハ
有ル人ニ対シ　ヲジギヲ為ス
一村中ニ学校ヲ立ツ　教師ヲ置ク　教師ハ
アメリカ人　学ニ来ル者ハ男女ヲ問ハズ
一ツ教ヲ受ル事ヲ知ラズ　学師ニ対シ
ヲジギヲ為ス

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1

ガラス使用

一勝の為めにも有之の酒宴に似寄り婚姻の事
に至りて有之候錦衣ことごとく相改め大尾
似寄ことごとく面々おのおの伴侶を伴ひ
有り婚礼の日に臨りて婚礼を済し
双方有之候しかるに婚礼式終れば
似寄ものの内お女婚を怪しみ婚礼
文の前後の次第に拘泥し婚礼
衣の如き門を相年ごろ済し
婚礼終れば入婿おい酒宴
入婿おい酒宴ありて
一入婿おい酒宴ありて

ケん大尾ごとく婚礼終り婚
り以前に済ませ門招き
亜墨利加合衆国ハ
一報知ハ東京ニ
一私儀元亡年退
アメリカ
一アメリカ
一アメリカ
ごはの

高とお乗中、サンホセ、一サトランを日限の時候に本牢く浮島に
サトランを本当に活きて本サンホセ人が著月活くそくやく
一四処おそ乗前九月比花火揚中人面ノ形又ハ
花の如き形ノ物を空ニ揚ること
一此処而全体ニ於て活方ニ於ても
花揚候ニ更ニ活者人夢境の如く
おもふやうに覚ゆ外国人の
船ニ乗ニ入津候中ニもロリン船を
ボルトケシ ロリン等と高船打ニ
乗入津候ニ日新ニ花多布
船ニ乗候ハ大小ニ布ニ
一芝居ハ大小ニ布ニ出女ニ乗の上ニ
有ニ而ニ大小ニ芝居ニ於ても
芝ニ乗の如く上ニ而ニ屋根ニ
ニ乗候ハ正面ニ屋根ニ而ニ
ニ乗候ハ二階ニ而ニ
おハニ乗ニ而ニ
り而ニ幕ニ而ニ幕の
ニ而ニ幕の
船ニ乗候ハ
一町ニ八百軒ニ乗ニ而ニ
掛ニ乗ニ
一芝居ハ大小ニ布ニ出女ニ乗の上ニ
有ニ而ニ大小ニ芝居ニ於ても
芝ニ乗の如く上ニ而ニ屋根ニ
ニ乗候ハ正面ニ屋根ニ而ニ
ニ乗候ハ二階ニ而ニ
おハニ乗ニ而ニ
り而ニ幕ニ而ニ幕の
ニ而ニ幕の

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1
ガラス使用

一鶏ヲ飼ヒ又ハ牛ヲ畜ヒ乳ヲ搾リ飲ヲ販ク
酒ヲ販ク事ヲ願フ者ハ其願ノ趣ヲ具シ
一ヶ年ノ間ハ海ヲ隔テ蕃薯植付ノ
日本ヨリ金穀ヲ貸与シ市ヲ開キ
シルボエラ ナランハ イユこう キョこと
ヒタヤ
一苗木ノ類ハ勿論ノ事ニ候ヘ共別ニ
日本ノ草木ヲ植ル事ヲ願フ者ハ其
マサトラン ニ苑囿ヲ設ケ
ヲ植ル事
一ヶ年ノ間ハ海ヲ隔テ蕃薯植付ノ
日本ヨリ金穀ヲ貸与シ市ヲ開キ
シルボエラ ナランハ イユこう キョこと
ヒタヤ
一苗木ノ類ハ勿論ノ事ニ候ヘ共別ニ
日本ノ草木ヲ植ル事ヲ願フ者ハ其
マサトラン ニ苑囿ヲ設ケ
ヲ植ル事

一以前ノ条々阿蘭陀ノ船ヘ
大サ二十四号程中号奈良茂ノ船ニ
程ノ船ヘ
一此外ノ刑人三人ノ仕置ハ其事ニ
候ヘ共
ヲ植ル事
ヲ植ル事
一此外ノ刑人ハ
ヲ植ル事
ヲ植ル事
一以前ノ条々阿蘭陀ノ船ヘ
大サ二十四号程中号奈良茂ノ船ニ
程ノ船ヘ
一此外ノ刑人三人ノ仕置ハ其事ニ
候ヘ共
ヲ植ル事
ヲ植ル事
一此外ノ刑人ハ
ヲ植ル事
ヲ植ル事

筒ノ如シ右之様ナル物ヲ刑人ノ加入居ル穴ノ底ヨリ次第ニ曲ル様ニ積重ネ其ノ刑人ノ体ヲ其ノ上ニ仰向ニ臥セ両手ヲ水ノ中ヨリ出シ両ノ膝ヲ曲ケ両ノ手ヲ膝ノ上ニ置キ其ノ上ヨリ土ヲ掛ケ埋メ首ノ処ヲ少シ残シ置キ其ノ残シ置キタル首ノ処ヲ又土ヲ以テ埋メ其ノ土ヲ堅ク踏ミ固メ其ノ上ニ又水ヲ入レタル桶ヲ伏セ置キ其ノ桶ノ上ヨリ土ヲ以テ埋メ其ノ土ヲ

川張り柱ニ而ニ神ドトリ
一ちい柱ニ而ニ外国ニ七ケ国
東ハ浮ル日本ニ而ニ唐ニ八
ノ如き者ニ而ニ候ニ而ニ
一此節ニ而ニアメリカ人ニ方ニ而ニ八幡ニ而ニ
ニ而ニ而ニ而ニ而ニ而ニ而ニ
一里山ニ而ニアメリカ人ニ二十ヤクシウニ而ニ
一町半ニ而ニ又ニ而ニ延ニ而ニ
麦畑ニ而ニ而ニ而ニ而ニ而ニ
ニ而ニ而ニ而ニ而ニ而ニ

日ニ而ニ表ニ而ニ
入ニ而ニ又ニ而ニ
八ニ而ニ而ニ而ニ而ニ
ニ而ニ而ニ而ニ而ニ而ニ
ニ而ニ而ニ而ニ而ニ而ニ
ニ而ニ而ニ而ニ而ニ而ニ
一ニ而ニ而ニ而ニ而ニ
ニ而ニ而ニ而ニ而ニ
一ニ而ニ而ニ而ニ

安南人ハ男女共ニ黒キ着物ヲ着シ長ク髪ヲ
天竺人ハ木綿ニテ毛ヲ落ス故ニ
ヒアメリカニテ多ク見タルモノト
日本ニテハ服ヲ着スル者ハ
又ハ市店ヲ開キ
ヲ着シ又ハ市店ヲ開キ
男ハ必ズ袖ノ長キ
ノ如クシ

一切彼ノ者ノ公ス人ノ後ニ
者ハ面ヲ黒ク船ノ者ヲ
日本ノ舟祝ヒシ者ヲ
ニト雖モ元ヨリ
ニハ七八年ノ毛ヲ切リ
又安南ノ女ハ遠ヒ
一ヒヨンコンヒ申処ハ
ヲ大井ニ平ニ
リ市ハ町家モ
鴻ハ通事イギリス人

役人所ニ而ハ荘兵ソングトウ
ト申ス人初メ支那ニ而ハ
ト申ス人ニ而ハ
一千ウサントハ大サ相撲ノ
ト申ス人ニ而ハ
一ニンブケハ年頃五年

一日暮りけれバ大根沖風ニ日和ヲ待
ツ内天狗ノオンヲヤリ来ル西風ヲ
船ヲ雪待ニ泊リ有ル内ハ大ニ手間ノ
ラヌ事ニ有ラズ大ニ日和ノ
一日有ル内ハ物ノ沽ル價有ル西ヲ考ル
ハ勿論ニ候得共仕方無之候
薪ハ多ク入リ有ル内ハ
一西ノ年イギリス人十疋キタル内
ショトウ シマ右同ジ
ヲ打疋ヲ皆ヲ取ル事ニ

一右同ジ日ヨリ
宗法ニ寺殿ハイギリス人ニ焼
ニおゐてニ泊ル

一長須ニ着船ニ有ル内ハ
きし日暮ニ泊ル内ニ天狗
船ニ着ニ名ク酒ヲ酒ニ
さも是ハ海ニ入ル事ニ

天文

日月 ツリルナ
東 エシテ
西 南 北 スル ノリテ
寒涼 フリヨ フリニヨ
降 セヤイ ル
雲 アン
雨 風 ゴットウ ムイルフン
晴 ル
暑 カヘル

地理

山 モンテ
奥山 テンナウ
近山 ボコ
水 アハ
海 ブラヤ
井 ボソ
田地 ボヘリタ
種蒔 センハライヤシコ
石土道 ハモス ニノミラ

時令

朝晝 テンヂノ シノリ
今日 カイサンノ ヨナ ヨウ
昨日 コシヤノ
一昨日 オトロマシヤノ

人倫

父母 ババ マヽ
夫婦 ババリト
庶子 ムヤヤナイト
善人 カンビシン ボイノ
悪人 マコ
妻 セイセウ
男 ヲンブリ モヘリ
女 ユルマノ
兄 ムヤヤナユ
弟 ムヤヤナユ
姿 ウレドツボ
踊 カンタ
聾 ツリド
愚人 ムンヤヤマユ

働人 ヨルブリタラ
供人 ヨンブリ
美人 ムイボニト
不性人 フロホ カンヒタシン
鉄炮役 リンダドー
舩頭
男ノ名
僧 バアゼリ
医者 ボテカ
賄人 ビロド
水主 マリチツ
弱年 ムヤヤヨウ
ドン ガン マリヤ フランセレスー ドンルイロ人 フハン
ヘニト ヒイチ
女ノ名
ドサリヤ ニヒラン マリヤ ヘリタ

頭 カベヨ
髪 カベヨ
手 ソ
足 モト
身體 オホシ
眉毛 セハ
耳 オレハ
目 チガラ
陰門 ガランバヌガラホ
陰茎
泣 ヨラント
口 オラカ
鼻 ナレイシ
舌 レンダワ
病人 タマリ
疱瘡 イリボエラ

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1
ガラス使用

屋室

家 カシヤ
入口ノ前 ボヘリノ
同閑 ボヘリタキタ
垣 セッコ
寺 ハセリカシヤ
家内 アキノマ

服飾

毫 ラウヤ
白 ブランコ
木綿 アリゴトシ
黒 クロ
羅紗 ニラボ
赤 マニラス
足袋 ソリヤス
衣類 カミシヤ
傳 サッバトウ
糸 イーロ
絹 セタ

飲食

飯 ハバ
菜油 セイトウ
空腹 アンブリ
酒 ビノ
白砂糖 シラカウ
香ノ ベベ
酢 ビナキリ
黒砂糖 バノチヤ
奠楚 ユシイド
塩 サリ
蒸餅 バン
晝食 モリソ
茶 チヤ
豕油 マンテカ
夕食 モリサダ

鳥獣虫魚

雞 ガイナ
羊 ヤン
犧 マリミノーカ
蜥場 カリヤ
鳩 バロヤ
鹿 ベナト
牧 サンカロド
天 チウノー
蚕 ボロ
鳥 バーリト
小鳥 ガト
猫 ボロス
乱 バカ
牛 ドスウ
鼠 モスキイト
蠅 ニコロ
蜂 ビダチ
蚋 ミコロ
地

草木

麻 アロス
南京綿 カラワサ
臭 ベシカド
草木 セバダ
麦 マンース
南蛮黍 セボヤ
葱 カモテ
薩摩芋 ボロス
煙草 ヌハタバコ
西瓜 サンリーヤ
蕃椒 チリ
胡瓜 ヌロン

器財

金 コマラズ
銀 ブランコ
銭 ラコ
鍋釜 カスエラ
鉢 フラシタ
茶碗 ウトコ

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1
ガラス使用

水壷（ウラヤ）　針（アグワ）　長吟（スツボ）　帳（シー）　曲彔（シイヤ）

遠（カミノ）　言語　近（ボコ）　悉（コマヤシ）　腹立（ハバドリ）　盲（ボイノ）　奇麗（ニヒ）

食盤（ダメサ　又ハ井戸云）　舵（シン）　引（ハア）　剌加（ナバハ）　薪（レンキ）

喞合（アブラ）　切（ユリタル）

炭（ヤルボン）　庖丁（ノテヨ）　鉄炮（カリウ）　網（メカラ）　扇（トミヲ）

大（ガランテ）　呼（ベガレ）　血（サキリ）　尋（ブウスカ）

拝（バランサ）　墨（ビンタ）　天筒（ガランデカノウ）　硯（カンロテ）　枕（アリマクタ）

小（オキト）　谷（センヨウニノ）　杓（テツベカリ）　上（アレバ）

物差（スン）　紙（ハベリ）　天秤（バリコ）　櫓（ハラ）

徃（ハモス）　尊（ヒルマ）　乾（セア）　下（アキヒタ）

鉄（デヘラ）　鎗（スンボ）　小舩（ボテ）　皆乗舩（ランチヤ）

戻（メテ）　笑（チユ）　濡（モハド）　仕（ユシイ）　痛

貰（ユンブラ）　貰フ（ダメ）　持来（テンライ）

多（ムシナウ）　借セ（ベレシメタ）　死（ムリヨ）

女（ボキト）　寐（ドロメン）　勝（センタ）　機（ヨ）

早（ホシント）　起（ケヘラシ）　雑舩（ル）

遅（ボユ）　先（ナダ）　キノナシ（ハリヨント）

不好（ノケリ）　有（セアイ）　ホタヌル（フガント）

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1

ガラス使用

於那国廣國世子初ヌ
一四方筒袖羊物
　　但筒袖長袴着ル
　　神ヲ祭ル
一幡子　　壱
一短筒袖羊物　　壱
一切レ　　壱
　　是ハ幡子解ル為
一毋通光鏡　　壱
一投入　　壱
　　八ツ
　　二ツ

投入ハ今ノ言ニハ七輪ノ
如ク言ニハ火鉢ヲ指ス
一半前　　壱
一鴈淵玉　　大小
一砂金　　九
　　十九
　　是ハ長崎ニ而ハ清朝
　　ヨリ渡来ル中ニ
　　二十ト云ヘル
一つりツキ灌　　七
　　是ハ長崎ニ而ハ
　　しゃ清ヨリ渡来ル

一手紙

長い手紙をしめて二冊を長崎奉行所

一写真

長崎奉行所にて撮影したる者をもって江戸へ御差上

右は亜メリカより世界の景

一写真鏡葉四ツ

一砂糖

一袷羽織

右は漂流人より世界の景

一蒸汽船帳子

一四冊

一本綴

一薄紙

長い薄紙風呂敷ようの袋に入れて江戸へ御差上

一蚊帳

一薬草

一茸茶

一水彩絵形画七ツ

一三ツ七ツ

一硯

一切

一刷

一冊

一包

一個

一本

一面

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1

ガラス使用

一筆
一石摺帖
一鼻紙
一白紙帖
一扇子
一洗牙美盤
一煙草扨入
一桜桐莨扨
一筑紅
一水晶

一筆
一冊
一摺
一冊
二本
一枚
一枚
一足

右之品預り置
長崎奉行所ヨリ之
一鹿玉

鹿

菜入竹金之内ニ歟美唐紙子少々添

一汚但
一菜三種
一剃刀

皮砥添

一楊枝
一毛掃

一包
一丁

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』 請求記号 862-1

ガラス使用

一紙鉄子 相応
一赤紙

樹木の枝を剝ぎしものを
右はアメリカより世界品

一手差
一刺刀 但名添
一火打金 右同断
一麻切レ
一雨具 英吉利の種
右は右同断

也
夜
也
鞍
也
也
色

外二

一活字摺之長崎摺の金事人ハ世界
アメリカ英吉利ニ而ハ世界ニ而ハ
往来ニ而金ハ不通ニ而

一ウニナイ役刀
一木綿浴衣

是ハ浴衣七ツ也 右ハ活字摺ニ而

小
也
也

一木綿風呂敷
一指油綿入
一支那小鍋

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1
ガラス使用

一唐紙壱文

一日大銭壱文

右ハ前之通り銭無之節ハ

長崎ニ於テ代銭ニ而差出シ申候

一雲丹糕　弐包

一求肥糕　弐包

一ヨウカン　四包

一茶粉　壱包

一茶掛　壱本

一白金巾袋引　壱本

一木綿切レ　壱本

一木綿筒袖袷　壱同

一浴衣　壱

右之通ニ御座候

以上

松浦當三月漂流人江帝為受取長崎
日奉行差添与初而統日月多々為取
古之方長く為仕候と四方く元日発
紀毛布鉄砲為持仕候次第ニ而
一長崎ニ而者掌訳ニ而長崎ニ
異国之次第ハ新聞ニ而御聞ニ
一七月ニ而ハ帰国長く逗留仕候ニ
逢候ニ而ハ無之候ニ付而ハ
承之ニ而御聞ニ候哉

長崎村

乙名

頂之儀

若黒漆塗笠ニ而ハ無之候哉
以後名ニ而ハ長崎市中ニ
承之ニ而御聞ニ候哉

大長崎村年寄ニ而為取之
差出候

御用ニ而長崎江
為御呼被
浦川源七郎

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1
ガラス使用

唐人屋敷常勤処

小通詞

岩瀬源七郎

日並

本木昌造

日並勤

名村栗八郎

相詰古通詞

立石澤十郎

岩瀬源四郎

石橋庄兵衛

小通詞助勤

牛込惟撰

矢野鶴三郎

堅石幸次郎

同沈香仲乙屋敷出役

唐小通詞

彭城志清

唐小通詞助勤

呉春甫

鍋田禮助

小川吉十郎

中尾芳次

探り番

右助

芳助

林仙

新藏

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1

ガラス使用

菜飯ニ而カビタン持参、私も菓子
已前船主共吾伯之部屋へ私を
茶菓子ニ招ひ候ニ而
唐船ニ而ハ帆ニ而
ニ而ハ
別ニ設ニ而ハ
而已ニ而
右ニ而飯ニ而ハ毎日ニ候ハヽ別ニ相設ニ而ハ
高麗和三郎
盧　君平
汤ニ而ハ
唐彼ニ
御用ニ
出役ニ
賄ニ

一日ニ唐船ニ而ニ而
今日出役ニ通り二而

ニ而
ニ而
ニ而

唐船之艘漂着ス此一艘
仕立候船ハ已ニ当王氏ノ船ニ
雲帆揚揚ニ候ハ
一十月朔ノ唐寺ニ而ニ船首ニ
南京ヨリ長文ノ節ニ而ニ
ちゝ代官ヨリ一統ニ
唐寺ハ山宗福寺ニ
右ニ而ちゝ古座ニ

宿町組ニ
日下役
一人
一人

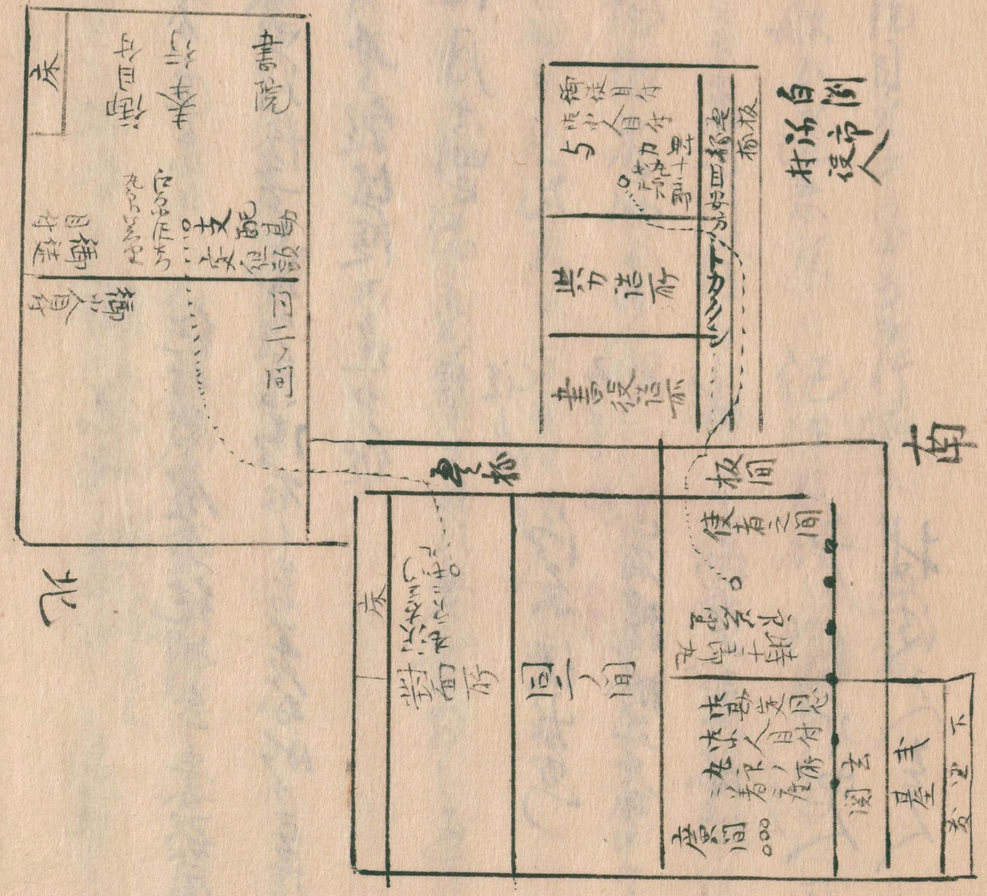
周

一日ニ唐船ニ艘ニ而帆ニ
中ニ而ニ一統ニ而ニ
ニ而ニ唐人ニ而ニ
日夜ニ而ニ
役人ニ而ニ
中ニ而ニ
ニ而ニ
一日ニ而ニ

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1

ガラス使用

一長府出立二而夫より小倉通川々多以舟川
より又舟中より小倉通ル此間舟ニ而凡
拾里余ニ而小倉ニ着ス此間海上ニ而大風ニ
逢ひ同里数里ヲ下ル通路ニ而ハ中々ニ捗ゆ
かず依之小倉表より国元
中筋凡三十里ヲ陸行ニ而帰ル事ニ
相定夫より直ニ陸行ニ而帰国ス



長府藩士
白浜浜人

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1
ガラス使用

[illegible]人目附ヲ以奉行所ヘ書ヲ
もゝ二百疋松ヶ浦泰地
又兵衛江帯ト申者四月廿五日ニ
表へ被到着候ニ付
四月廿四日

[illegible]
[illegible]

江原沢右衛門
ゟ差添
岩橋時千郎
島定吉行田心
ゟ人
少人目付壱人
村役人ゟ人

清兵衛奉行所ヘ申出書
もゝ二百疋松ヶ浦泰地
紀伊殿領紀表年番組
同
泰地ヘ着候ニ付
右之通

右之者共外國漂流候節
御手當被下候趣相違
無之候間其段可申聞候
以上

辰十月

右奉書之趣承知仕候
以上

申渡

紀伊國牟婁郡
熊野浦
水主

右之者共外國漂流候節
御手當被下候趣相違
無之候間其段可申聞候
以上

辰十月

右奉書之趣承知仕候
以上

申渡

紀伊國牟婁郡
熊野浦
水主

右之者共外國漂流候節
御手當被下候趣相違
無之候間其段可申聞候
以上

辰十月

右奉書之趣承知仕候
以上

申渡

紀伊國牟婁郡
熊野浦
水主

右之者共外國漂流候節
御手當被下候趣相違
無之候間其段可申聞候
以上

辰十月

右奉書之趣承知仕候
以上

申渡

紀伊國牟婁郡
熊野浦
水主

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』 請求記号 862-1

ガラス使用

中後守某吉吉へ〜

漂流人 清兵衛 〜吉へ

紀伊國牟婁郡
周参見浦永住被
仰付候

浦奉行

右之者共儀外国へ漂流致候
処〜江被召帰候ニ付而ハ
御国禁之儀ニ候得共右之
通漂流人ニ付
御免被
仰付候ニ付而ハ
御国

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一白銖
一切レ
一斗ノ角
一本漆
一五徳筒徳利
一給徳利入
一平鉢
一木綿
一雲斤糕
一氷砂糖

三箱
壱箱
壱
少
壱
壱
壱
壱包
少包
四包

一耳杯
一水多糸務
一皇紙
一杉
一瑪瑙玉
一硝子玉
一フリッキ鑵
一硯
一たそこ
一扇

大小
壱箱
一箱
壱
半
六
壱面
壱包
三箱

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1
ガラス使用

一 筆
一 陸牙算盤
一 青銅茶托し
一 茶舩
一 唐紅帳子
一 表漆小箱
一 掛掛物
一 石摺折本
一 白紙帳面
一 本綴糸

一 箪笥
一 数帳
一 箭壺
一 布巾切し
一 袷着物
一 冊色毛氈
一 茶物
一 寿包
一 多葉粉入
一 唐筏少平文

一 箪笥
一 数珠
一 箭壺
一 布巾切し
一 袷着物
一 冊色毛氈
一 茶物
一 寿包
一 多葉粉入
一 唐筏少平文

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』 請求記号 862-1
ガラス使用

右之外共為代り日数二十文ゟ為取
一日大銭文
右之内為代り日数廿文ゟ為取
一米弐合宛給
一日給入
右之通被仰渡候ニ付御請印形仕候
紀伊國屋弥市
月番名主 水兵
弥市

右之通漂流人ゟ為取候ニ付御奉行所へ差遣候
以上

長府右筆ニ渡候人
長府奉行
沖田付
井戸対馬守
山口内通

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1

ガラス使用

右長浜奉行支配

中沢帝壽
垣井大八
吉沢佐十郎
飯田勝蔵
水野庄蔵
岩瀬佐兵衛
大塚西司
桜井文四郎

右信貴山支配

井戸対馬守家来

山田清平
小沢春吉
栗原亮作
西夏之介
佐宗源之助

用人
清水槻蔵
行村益次
松本直清

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1

ガラス使用

山路留吉
行村豊作
前野作蔵
中山姓
河野大八
長坂環
松山権蔵
石川雲蔵
東雲寺
市橋薫吉
住
塚田駒吉

結人
塚本治吉
橋本祐蔵
村山又吉
勝田長吉
塚田権吉
医師
林玄領
納戸役代官
石井俊八郎
大津芳蔵
名古屋
古川勝蔵
毒尾泰司

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1

ガラス使用

862
1

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』 請求記号 862-1

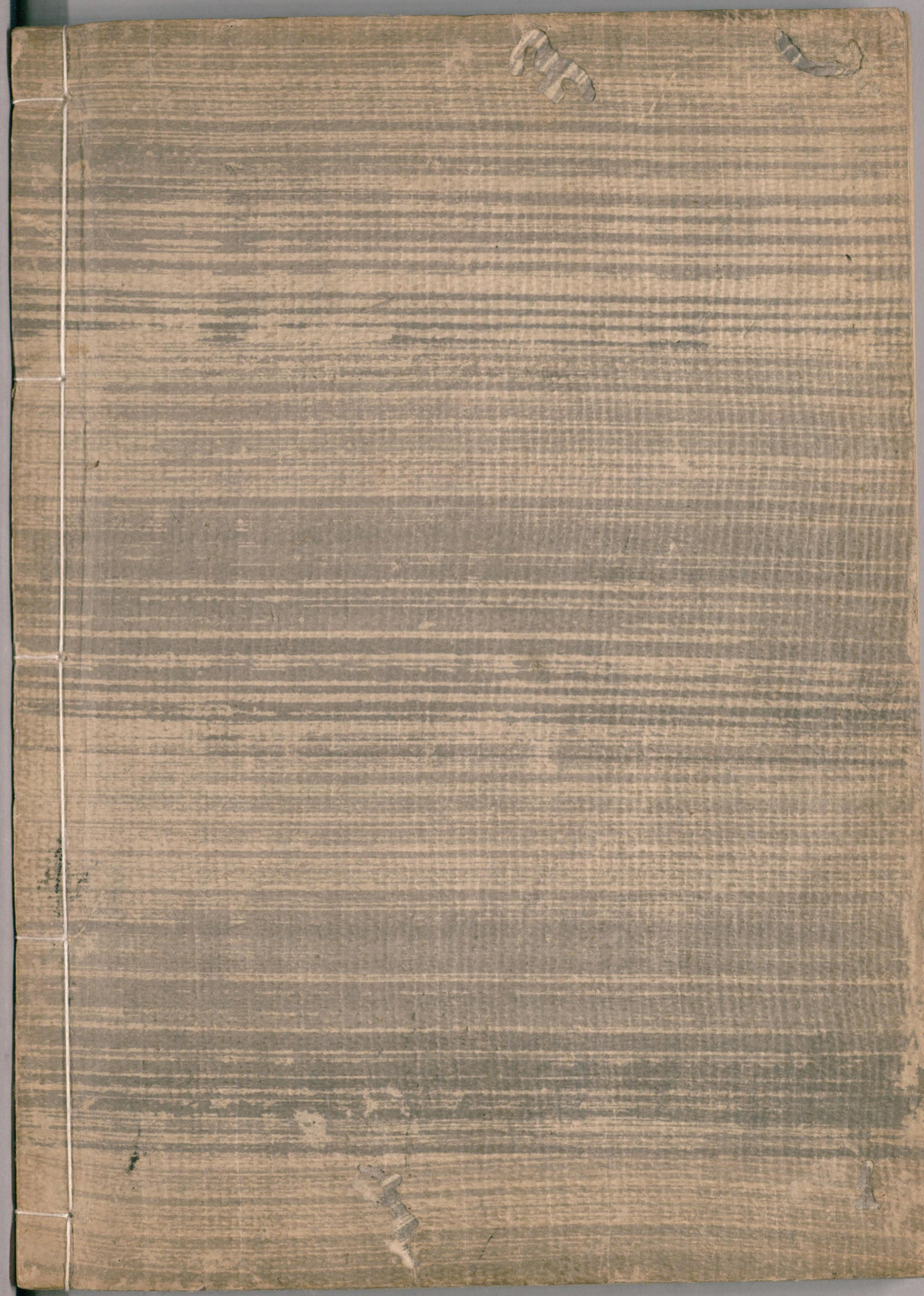
ガラス使用

862
1

漂流人弥市之記

国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』　請求記号 862-1

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『漂流人弥市之記』 請求記号 862-1

ガラス使用